

別紙2 施設概要資料

1 施設概要

名称		東御市温泉健康複合施設(ゆうふる tanaka)
住所		東御市田中 278 番地 18
設置目的		地域交流、商業振興、市民の健康づくり等の便宜を総合的に供与するため、本複合施設を設置する。
運営方針	温泉施設	千曲川温泉を利用した温泉施設として、地域活性化を目指し、日常の入浴施設として住民の交流の場所とする。
	スポーツ施設	健康増進、体力の向上等と共に、身心のリフレッシュとあわせ、活力を生み出し、地域のコミュニケーション施設として健康をささえる。
	その他	地元食材メニューの提供や地場生產品の活用等も含め、地域産業の発展に努め、誰もが気軽に集まれるコミュニケーション施設の拠点とする。
竣工		平成 11 年(1999 年)6 月
総事業費		1,930,185,000 円(地域総合整備事業債)
建物構造		鉄筋コンクリート造 耐火建築物(立体駐車場 鉄骨造) 地上 3 階建て
延床面積		約 6,610 m ²
主な機能		温泉入浴施設、フィットネスジム、スタジオ、飲食機能、休憩スペース等
管理運営		指定管理者制度により運営
現指定管理者		株式会社信州東御市振興公社
現指定管理期間		令和6年4月1日から令和 11 年3月 31 日まで

2 施設の特徴

ゆうふる tanaka は、しなの鉄道田中駅に隣接する交通利便性の高い温泉健康複合施設であり、温泉入浴機能に加え、フィットネスジム、スタジオ、飲食機能等を有している。

市民の健康づくりや地域交流の場として利用されてきた一方で、近年は利用者の減少傾向及び固定化、施設・設備の老朽化、光熱費や修繕費の増加等により、運営環境が厳しくなっている。

今後は、周辺住民利用に加え、田中駅前前の立地を生かし、観光客の受入れ、市内周遊、滞在時間の延伸、地域消費の拡大につながる活用可能性について検討が必要である。

3 利用・収支状況

令和7年度の利用者数は184,322人であり、一定の利用はあるものの、過去の利用者アンケート等では、利用者層が会員・常連利用に偏る傾向も見られる。

また、令和7年度の指定管理料を除いた収支は約4,244万円の赤字となっており、現行の運営体制では、施設単体での収支改善が課題となっている。

今後は、収入向上策、経費削減策、施設機能や指定管理制度の見直し等を含め、持続可能な管理運営手法を検討する必要がある。

4 主な課題

主な課題として、一定の利用はあるものの利用者層が固定化していること、施設規模に対して運営経費が大きいこと、施設・設備の老朽化により今後も修繕需要が見込まれることが挙げられる。

また、田中駅前立地を生かした観光交流拠点としての活用、料金体系・会員制度・サービス内容等の見直し、過去の整備・改修に係る補助金・起債等の整理についても検討が必要である。

5 現在の管理運営上の前提

現在、ゆうふる tanaka は、湯楽里館、御牧乃湯、明神館とあわせて、市内公共温泉施設4施設を一括して指定管理者制度により運営している。

現行の指定管理期間は令和10年度末までであり、令和11年度以降の管理運営方法について、指定管理制度の見直し、民間活力の導入、一部機能の民間活用、必要に応じた施設機能の再編等を含め、幅広く比較検討する必要がある。

6 留意事項

本資料は、企画提案に必要な施設の概要を示すものであり、詳細な利用実績、収支資料、施設図面、修繕履歴、指定管理、補助金・起債等に関する資料、東御市温泉健康複合施設長寿命化計画(令和2年3月作成)は、必要に応じて、契約締結後に市から受託者へ貸与する。

また、本業務は、改修の実施を前提とするものではなく、現施設の活用、運営改善、指定管理制度の見直し、民間活力の導入、必要に応じた修繕・改修等の複数案について比較検討するものである。

なお、過去の整備・改修において国庫補助金及び起債を活用しているため、民間活用、貸付、譲渡、用途転換、施設機能の再編等を検討する場合には、制度上の制約に留意する必要がある。